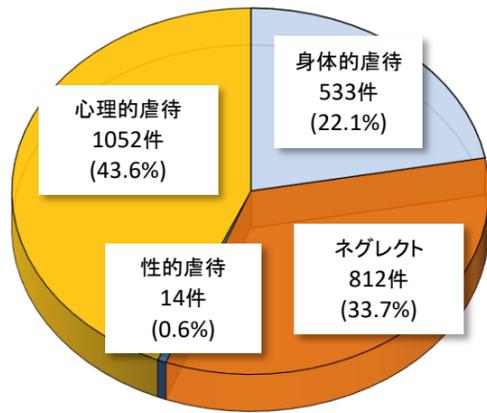
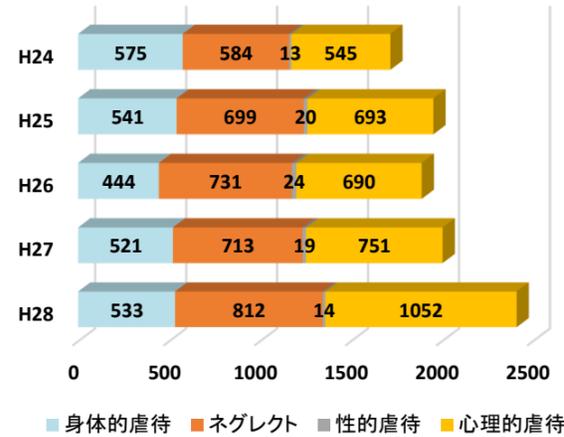


虐待の種類

H28種類別件数内訳



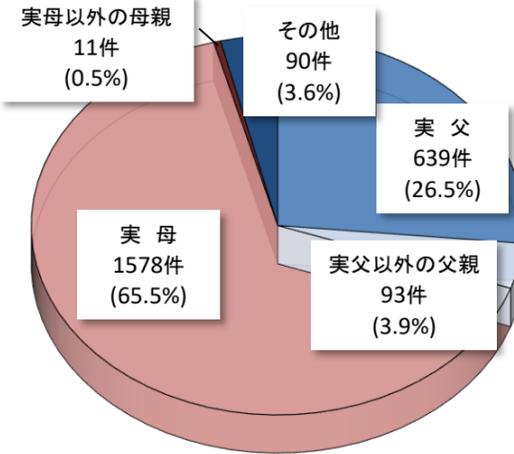
種類別件数の推移



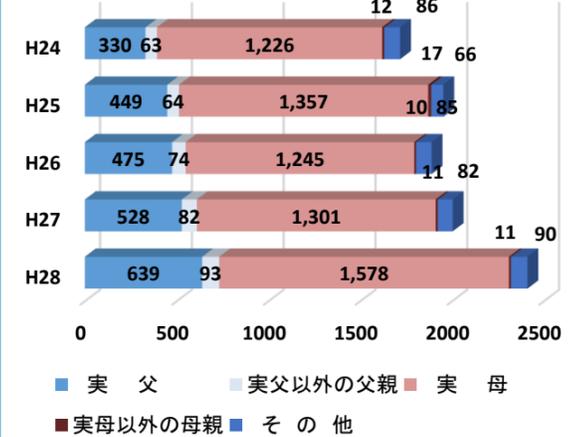
「心理的虐待」が最も多く、次いで「ネグレクト」「身体的虐待」の順に多い。前年度と比べると「心理的虐待」「ネグレクト」の件数の増加が目立ち、特に「心理的虐待」は301件増(40.1%増)と増加率が高い。「ネグレクト」も99件増(13.9%増)となっている。

主な虐待者

H28主な虐待者の件数内訳



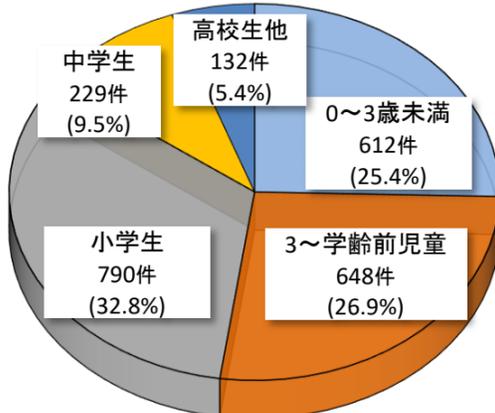
主な虐待者の推移



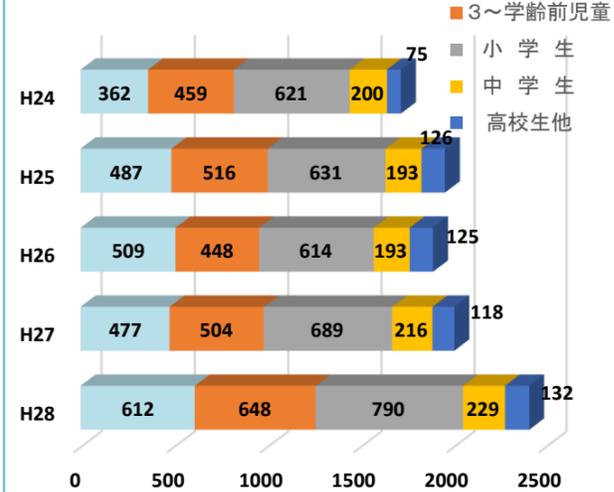
「実母」の割合が最も多く(65.5%)、「実父」と合わせた「実親」の割合が、全体の9割を超えている。前年度と比べると「実母」及び「実父」の割合が増加傾向にある。

被虐待児の年齢

H28年齢別件数内訳



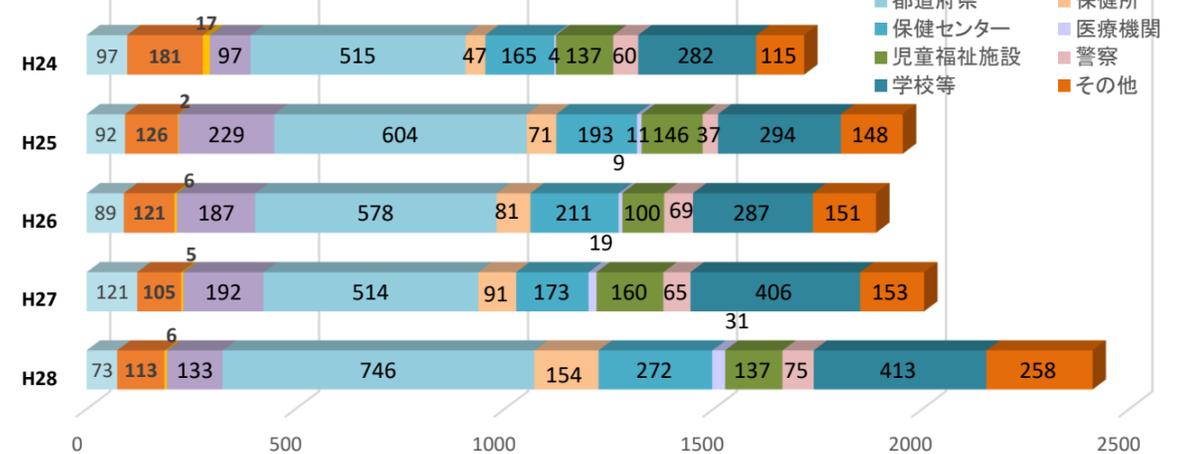
年齢別件数の推移



全体の約半数(52%)が就学前の児童である。前年度と比べると「0~3歳未満」が135件増(28.3%増)、「3歳~学齢前児童」が144件増(28.6%増)と、増加率が高い。

虐待通告の経路

種類別件数の推移



「都道府県」からの通告が最も多く、次いで「学校等」「保健センター」の順である。前年度と比べると「都道府県」及び「保健センター」が、それぞれ232件増(45.1%増)、99件増(57.2%増)と特に増加率が目立っている。